

# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)清和工業株式会社木津川テクノセンター	階数	地上2階
建設地	京都府木津川市梅美台8丁目2番1	構造	S造
用途地域	準工業地域 法22条区域	平均居住人員	25人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,000時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年6月 予定	評価の実施日	2016年12月14日
敷地面積	14,495 m <sup>2</sup>	作成者	前田 享郎
建築面積	2,627 m <sup>2</sup>	確認日	2016年12月14日
延床面積	2,627 m <sup>2</sup>	確認者	前田 享郎



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 75% (46)

③上記+②以外の 47%

④上記+ 47%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

Q1 室内環境: 2.7  
Q2 サービス性能: 2.8  
Q3 室外環境(敷地内): 2.8  
LR1 エネルギー: 4.2  
LR2 資源・マテリアル: 3.1  
LR3 敷地外環境: 3.8

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q のスコア = 2.8**

#### Q1 室内環境 (Q1のスコア= 2.7)

音環境	2.6
温熱環境	3.0
光・視環境	2.7
空気質環境	2.6

#### Q2 サービス性能 (Q2のスコア= 2.8)

機能性	2.5
耐用性	2.7
対応性	3.4

#### Q3 室外環境(敷地内) (Q3のスコア= 2.8)

生物環境	3.0
まちなみ	3.0
地域性	2.5

### LR 環境負荷低減性 (LRのスコア= 3.8)

#### LR1 エネルギー (LR1のスコア= 4.2)

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア= 3.1)

水資源	2.2
非再生材料の	3.3
汚染物質	3.7

#### LR3 敷地外環境 (LR3のスコア= 3.8)

地球温暖化	5.0
地域環境	3.4
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
断熱性能の確保や省エネ機器の採用により省エネルギーに配慮した建物を計画している。		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
0	将来のレイアウト変更等も考慮し空間を比較的広く計画している。	0
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
屋根2重折板(内部断熱材)やLED照明など省エネルギーな建物を計画。	躯体材料以外でリサイクル材を使用している。	工場での作業は火や水を使用しないため汚染物質を排出しない。 屋外広告物には照明設備を設置しない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される